

		井、新井、二之宮、三井、富田、泉沢、江木、堤、東上野の14村でした。
26	双体道祖神	荒口町。玉村の福島へ通ずる古道の路傍に建っており、外から荒口へ入ってくる悪霊を防ぐため天保3年(1832)造立されたもので、男神と女神が浮彫に彫られています。
27	荒子杉山古墳	荒子町。直径約30mの円墳で、横穴式石室は、輝石安山岩を使用した7世紀中頃から後半期と推定される載石(きりいし)加工の精巧な造りであることが判明し、平成22年3月15日に市史跡に指定されました。
28	荒子塘碑	江戸時代後期に沿の南堤に桜が植えられたいきさつや、沿の周囲の景観などを臨場感に富んだ漢文で刻字されています。石碑は荒口の阿部耕雲の師岡永松陽が撰文・揮毫(きごう)を行っています。
29	薬師堂	荒子町。薬師堂は真言宗で室町時代に創建された赤坂山瑠璃光院医王寺であり、現在の薬師堂はその名残です。文明十二年(1480)の阿弥陀石殿や堅牢地神(けんろうちじん)、庚申塔、二十一夜塔、満月供養塔、青面金剛塔(しょうめんこんごうとう)、馬頭観音塔などがあります。
30	荒子砦跡	荒子町。西側へ張り出した崖状の台地を空堀で切り離し自然要害として築いた砦ですが、その内容を示すような資料がないのでその年代や詳細は不明です。砦内には現在忠霊塔が造立されています。
31	松野自得句碑	荒子町。JA荒砥支所の前庭西側にあります。農業協同組合の結成に貢献した小沼弥藤次翁顕彰碑建立に際し、建設委員より請われ「農の手を組ませしちから豊(とよ)の秋」と自得翁は詠みました。
32	荒子神社	荒子町。稻荷神社と諏訪神社を明治11年に合併し荒子神社と号しました。祭神は食稻魂命(うがのみたまのみこと)と建御名方命(たけみなかたのみこと)です。祭礼は3月29日です。
33	瀬下慶斎の碑	荒子町。江戸時代後期の馬医として地域に貢献し、また馬商として館林領主や伊勢崎領主へ馬を供給し活躍しました。門前に井上正香揮毫(きごう)による石碑があります。
34	新屋の五輪塔	荒子町。五輪塔は空・風・火・水・地の宇宙の五大生成要素からなり、主に供養塔として建立されました。中世末から近世初めのものと考えられます。
35	荒砥富士山古墳	西大室町。周堀を含めると直径49mの円墳です。埋葬施設は一部に切石を用いた両袖型(りょうそでがた)横穴式石室で、玄門・羨門(せんもん)を備えており平成4年に県史跡に指定されました。
36	伊勢山古墳	西大室町。全長90mの前方後円墳で6世紀末に築造されたと推定されており、墳丘に五社稻荷社が祀られています。八十八夜の祭りは大変賑わったが養蚕の衰退とともに住時の姿が見られない。
37	北組霊園の石仏	西大室町。土地改良に伴い周辺から集められた多くの庚申塔や、夜泣き観音が小祠に祀られています。西接する北組集会所前に良寛を詠んだ松野自得翁の「良寛さんはよい子集めて手萬理(てまり)うた」の句碑があります。
38	大室元城跡	西大室町。乾谷沼(いぬいやつぬま)の南東の台地先端に築かれた平城で藤原秀郷流の大室氏の居城といわれています。室町時代頃はここから南へ約500m地点に大室城が築かれます。
39	めいがん様	西大室町。関東管領上杉氏の家臣、長尾景春は永正11年(1514)没し、大室城に隠棲していた嫡子景英が供養のために建立したものと推定されます。「明厳宗哲禪定門」と刻銘された五輪塔で、「めい・がん」という読みから、いつしか目の神様として信仰されるようになりました。
40	北宿の石仏	西大室町。廿一夜塔は、女性の信仰で安産や子育ての月待信仰です。如意輪観音は衆生を救うポーズをしています。青面金剛(しょうめんこんごう)は、庚申の主尊で延命を願う人達を護ってくれます。
41	大室城跡	西大室町。白井の長尾氏の支城として築かれました。天正13年(1585)長尾政景は父を殺害した城代牧弾正父子を誅し、その後大室城は廃城になりました。二の丸、公民館東側にギンナンがイチョウの葉の縁辺につく特殊なオハツキイチョウ(市天然)があります。また、遺族会による「平和記念碑」建立に際し依頼され、「花の命をかけし男にア、父母」と刻まれた松野自得翁の句碑があります。
42	大室神社	西大室町。祭神は熊野久須毘命(くまのくすびのみこと)で大室城の本丸に鎮座しています。境内に東神沢川にかかっていた石橋「筆功橋(ひつこうばし)」が保存されています。祭礼は4月3日です。
43	双体道祖神	西大室町。前橋・西久保線の傍にあり、悪霊が村に入ってくるのを防ぐために造立されました。
44	白山の石仏	西大室町。前橋・西久保線の傍に念仏塔、廿一夜塔、馬頭観音、石宮などがあります。
45	地田栗の石仏	西大室町。江戸時代中後期の念仏供養塔、梵字青面金剛塔、大日如来坐像などがあります。
46	天神の石仏	西大室町。原組集会所内にあります。江戸時代前期の庚申塔と中期の庚申の主尊青面金剛塔があり、その時代の変遷が分かります。他に廿一夜供養塔があります。
47	観昌寺	西大室町。新義真言宗豊山派で本尊は阿弥陀如来です。大きな宝篋印塔(ほうきょういんとう)は昭和6年の西埼玉地震で崩落し、山門脇から現在地へ移転し再建したこと示す追刻が見られます。他に廿一夜塔、庚申塔、宝塔(市重文)、石造阿弥陀如来坐像などがあります。
48	大室古墳公園	西大室町、東大室町。国史跡で6世紀代の前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳並びに小古墳が公園整備されています。なお、公園内には市重文の赤城型民家や市天然記念物のコナラがあります。
49	湯清寺	西大室町。曹洞宗で本尊は十一面観音です。江戸時代前期に大胡城主牧野氏により開山されました。
50	荒砥147号墳	西大室町。前橋・西久保線の北側の畑の中に存在します。直径約30mの円墳で未調査のため築造年代は不明です。
51	松野自得句碑(大室小)	西大室町。大室小学校内にあります。大室小学校のPTAからこの地にふさわしい句を、と依頼され自得翁は「埴輪呑大室は神の住まいし地」と詠んでいます。
52	最善寺	東大室町。曹洞宗で主尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)です。境内に普蔵寺の供養塔(市重文)、きんまら薬師、宝篋印塔(ほうきょういんとう)などがあります。俳人で最善寺住職であった松野自得の「御佛は大地におわす八重櫻」と刻まれた句碑があります。
53	大室神社	東大室町。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)で赤城信仰の近戸神社でしたが、明治41年村内各地の社を合祀し、大正3年現在地へ移転し大室神社と号しました。祭礼は4月10日です。

81	新土塚城跡	二之宮町。戦国時代で城主新藤備前守は島原で激戦となり、袈裟切りにされ絶命しその怨念から荒砥川に片葉の葦が生えると伝承されています。新土塚古墳は物見台として利用したと考えられます。現在、古墳上には文殊堂が祀られ、古利根河畔七里ガ土手の十三仏のうちの文殊菩薩といわれています。
82	中澤直次顕彰碑・松野自得句碑(城南支所)	二之宮町。城南支所の駐車場前庭にあります。大正用水建設や現在の国道50号線建設など地域に多く貢献した政治家として建立された顕彰碑です。その西側に松野自得の句碑があります。昭和32年城南村が誕生したが合併のわだかまりが解けず、これを解消するべく自得翁に句の作成を依頼しました。35年新庁舎竣工記念に「人の一生いつも木の芽のふくように」の句碑を建立しました。
83	今井城跡	今井町。荒砥川右岸に築かれた平城で齊藤氏が在城し大胡城の支城であったとの伝承が残っています。荒砥川の氾濫やカスリン台風後の堤防工事により往時の景観は見られなくなりました。
84	今井神社	今井町。祭神は菅原道真公で東街道の南、前方後円墳の後円部に鎮座しています。祭礼は10月8日で前夜祭もあります。なお、今井神社古墳(市史跡)は全長71m、高さ7mの規模を持つ横穴式石室を有する前方後円墳で、5世紀後半の築造と考えられています。また、古墳の前方部上には観音堂が建立されています。北向き観音といわれ古利根河畔七里ガ土手の十三仏のうちの観音菩薩といわれています。
85	欠番	
86	安養院	筑井町。天台宗で本尊は十一面観音です。以前は、西北の下長磯境にあったが桃木川の氾濫により現在地へ移ったといわれます。境内に薬師堂があり南北朝期の造立と推定される白粉(おしろい)薬師如来などがあります。
87	中西の笠薬師	筑井町。胸の前に笠を持つ石像ですが本来の薬師如来像とは異なる姿をしています。目の薬師であるが笠(カサ)を持つことから皮膚(カサ)病を治すと信仰されています。
88	稻荷神社	小屋原町。祭神は倉稲魂命(うがのみたまのみこと)です。境内に明治の合祀令により護国社、八坂社、城峰社などが移され、また周辺の道祖神も集められています。なお、様々な願いが叶うという叶石パワースポットがあります。祭礼は4月10日直近の日曜日です。
89	本郷の荒神様	小屋原町。仏法僧の三宝を守る神でカマドにお札や幣束を祀る火伏せ信仰で縁日は7月31日で本縁日は8月1日です。
90	泉蔵寺	小屋原町。天台宗で本尊の木造地藏菩薩立像は室町時代の造立といわれています。境内には木造多宝塔や石仏があります。
91	芳切薬師	小屋原町。長谷戸(ちょうがいと)の木造薬師如来が堂宇に安置されています。弘法大師が芳(なた)で刻んだという伝承があり芳切薬師(なたぎりやくし)といわれています。境内には南北朝期の薬師如来や石仏、また僧公粟が大乗妙典を一千部読誦し建立された供養塔などがあります。
92	共愛学園の旧宣教師館	小屋原町。明治25年岩神町に共愛社(共愛学園)のキリスト教伝道宣教師の宿舎として2棟建設されました。現存する県内唯一の洋風住宅、旧アメリカンポート宣教師館として昭和53年県重文に指定されました。学園の移転に伴い平成12年小屋原町の園内へ東棟が移され保存されています。
93	富士嶽浅間神社	上増田町。大塚田にあり富士山信仰の石碑があります。祭礼は1月16日と10月16日です。境内には江戸時代前期の青面金剛や大國主命塔、石殿があります。なお明治時代に活躍した浪曲界中興の祖と言われる桃中軒雲右衛門の顕彰碑があります。大道芸であった浪曲を劇場芸にした雲右衛門の浪曲は全国を一世風靡(び)しました。大塚田の木村家に縁があり幼少から少年期を過ごしました。
94	大塚田の祭	上増田町。本尊薬師如来とその脇侍日光・月光菩薩、それを守護するための十二神将があります。
95	近戸神社	上増田町。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)で赤城山信仰の神社で祭礼は4月15日と11月23日です。社殿西の観音堂には千手観音石像があり、10月9日に夜祭が行われます。境内裏には周辺から集められた輪廻塔、馬頭観音、庚申塔、道祖神、二十一夜塔などがあります。
96	島の天神宮	上増田町。島宮公民館敷地内にあり、天神様の祠と石殿や大黒天塔があります。祭礼は下増田町の島組と一緒に10月14日と10月14日が祭礼で灯籠も点灯されます。
97	島の石仏群	上増田町。道の分岐するところに江戸時代中後期の道祖神、青面金剛、庚申塔、地藏像があります。
98	東組の地藏堂	上増田町。荒砥川左岸にあり、堂内に地藏菩薩と薬師如来が安置されています。7月20日が縁日で23日に灯籠祭りをを行います。周辺に庚申塔、二十一夜塔、馬頭観音などの石仏があります。
99	宮原の薬師堂	上増田町。中世の薬師如来と阿弥陀如来が安置されています。縁日は4月8日で7日には灯籠祭があります。境内には江戸時代中後期の供養塔、廿一夜塔、庚申塔、百番供養塔などがあります。
100	宮原の諏訪社	上増田町。祭神は建御名方命(たけみなかたのみこと)で明治に近戸神社へ合祀されたが地域に良くないことがあり現在地へ戻されました。境内に石殿や幕末の大黒塔があり、縁日は8月27日で前夜は灯籠祭りが行われます。
101	荒砥川改修記念碑	下増田町。昭和22年のカスリン台風による豪雨は500mmを超え、上・下増田は家屋の床上浸水や流失、田畑の埋没など被害は甚大で水田の復旧や荒砥川堤防工事は昭和30年に完成しました。
102	今宮八幡宮	下増田町。祭神は応神天皇(誉田別皇子=ほむたわけのみこと)で武人の神といわれます。祭礼は9月28日です。境内に江戸時代前期の庚申塔や五神塔、秋葉石殿などがあります。
103	蓮花院	下増田町。真言宗智山派で本尊は聖観世音菩薩です。境内に閻魔堂(えんまどう)や大師堂があり正月に厄除けで賑わいます。寛政7年(1795)の間引き地藏は信州の石工が造立したものです。
104	須永の馬頭観音	下増田町。公民館内の厨子(ずし)に安置されており、木造の馬頭観音立像は、三面八臂(び)像で忿怒(ふんぬ)の形相で衆生を救おうとしています。後に馬など家畜の守護神に変遷し農民に信仰されるようになりました。縁日は10月18日で、地藏菩薩の縁日は10月9日です。